

カーボン・オフセットについての研究

1 目的

平成21年度に実施した基礎自治体におけるカーボン・オフセットの可能性についての研究結果を踏まえ、具体化を図れるよう更に研究を進める。

2 検討内容

〈21年度の研究〉 基本的考え方、取組方法・事例の整理

- カーボン・オフセットの意義、効果
- 基礎自治体による取組みの可能性
- 62市区町村による共同の取組みの可能性



〈22年度の研究〉 具体化に向けた検討

- カーボン・オフセット活用を推進する情報の整理・共有化（ガイドブック作成等）
 - ・カーボン・オフセットの必要性、有効性
 - ・取組方法（グリーン購入、クレジット共同購入、J-VER制度による排出削減・吸収量の創出、温室効果ガス排出量削減に充当する仕組み 等）
- 検討を深める事項
 - ・国や東京都などの動向を踏まえた基礎自治体の取り組むべき事項の整理
 - ・基礎自治体によるカーボン・オフセットの可能性を踏まえた東京62市区町村による取組みの優先順位付け
 - ・具体的な取組みに寄与するための各市区町村のニーズのきめ細かな把握、及び共同事業としての実現性の検討
 - ・共同事業の実施にあたり必要となる費用の洗い出し、及び期待される成果に対する費用対効果の検討

3 実施方法

学識経験者4名程度、62市区町村自治体職員10名程度からなる検討委員会（12回程度開催）において、カーボン・オフセットの具体化に向けて調査研究を進めていく。

なお、調査研究は、各市区町村の意見や要望を踏まえながら行っていくこととし、あわせて研究結果の周知を図っていく。

4 スケジュール

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 委託事業者の決定、契約 | 平成22年4月 |
| (2) 検討期間 | 平成22年5月から平成23年2月 |
| (3) 調査研究報告書作成 | 平成23年3月 |

5 予算

600万円